

前回分科会における指摘事項に係る追加資料

指導員訓練

産業構造等の変化

指導員に求められる能力の変化

職業訓練ニーズへの的確な対応
職業訓練の質の向上と効果的な実施

職業訓練指導員に求められる役割を踏まえた特徴的なカリキュラムの実施

総合大学校の**5834時間**のカリキュラム

国立大学工学部
カリキュラムの
約2倍 ※

(※大学設置基準
による。)

職業訓練指導員に求められる能力

ものづくり関係

生産現場で実際に使用する設備・
機械による基礎から応用までの徹
底した技能訓練

技術変化への対応

(例)精密機械システム工学科
訓練する専門分野13種類31作業
うち技能検定2級レベル6作業
技能検定3級レベル25作業

訓練指導関係

- ・指導員としての心得
- ・指導技法
- ・指導案の作成の基本

ロールプレイング等
実践的なトレーニング

実務実習
(機構及び都道府県・民間の訓練施設
における指導員業務の実習)

キャリア・コンサルティング関係 訓練コースの設定・改善等関係

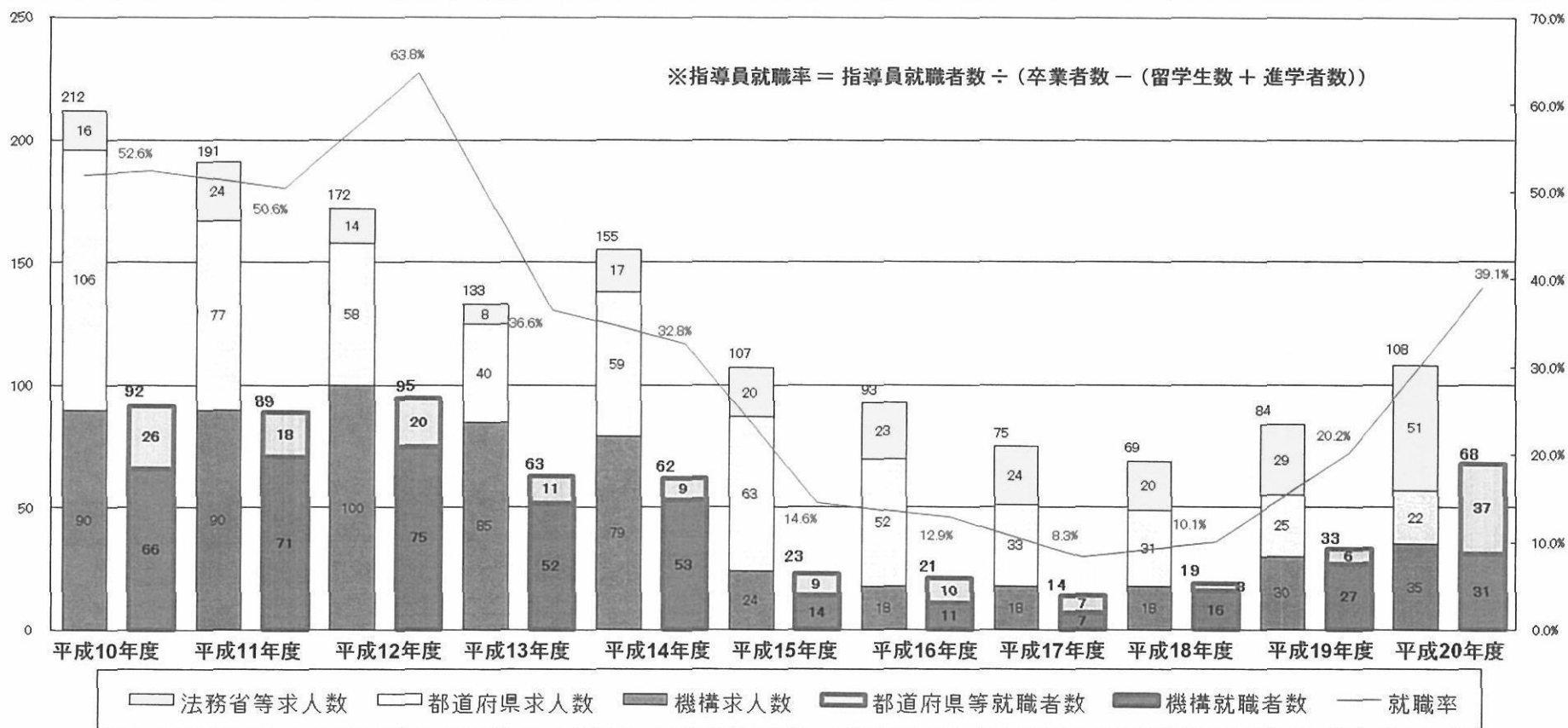
・キャリア・コンサルティング技法
(職業指導・相談)

・産業・経済の動向・能力開発
ニーズの把握の手法

・PDCAサイクルに基づき、訓練
コースを設定、実施、評価、改
善できる手法

職業能力開発総合大学校卒業生 就職状況

- 平成18年度の指導員就職率10.1%と比較し、平成20年度は指導員就職率が39.1%となり、指導員への就職率が29.0ポイントの大幅な増加
- さらに、入学試験への面接試験の導入、実務実習(教育実習)の早期化、指導員採用試験併願制の導入等様々な策を講じ、指導員就職率の向上を図る



※都道府県等の求人数に対し就職者数が対応していない理由

- 都道府県の求人時期が、民間の内定時期以降と遅いことから、待ちきれずに希望者の大多数が民間就職に流れてしまうため。
- 希望する地域において、自分が免許を有する職種に係る募集があるとは限らず、求人と求職のミスマッチが生じること。